



学校便り



浅海

松山市立浅海小学校

2019.9.5

夏の恒例行事

校長 芳野 妙 美

少し秋を感じる空になってきました。我が家の庭の話ですが、夏休みの終わり頃から、夜、鈴虫の鳴き声が聞こえてくるようになりました。秋の足音はだんだん近づいているようです。

夏休みが終わり、校舎に子どもたちの元気な声もどってきました。子どもたちの一回り大きく成長している姿に驚きました。体ももちろんですが、夏休みにいろんなことを体験して、心も大きく成長したと思います。この夏休みの体験・成長を生かして、2学期一人一人が活躍してくれることを期待しています。

さて、私の夏休みのことを少しお話しさせていただきます。この夏休みはたくさんの人、仲間と会う機会があり、大忙しでした。その「人・仲間」とは、・・・。

- 高校時代の同じクラスだった仲間
- 高校時代の部活動の仲間
- 中学校時代の恩師と教え子という関係の仲間
- 同じ学校で働いていた同僚
- 同じ学校ではないけれど、同じ活動を共にした教職員
- 「音楽」という同じ勉強をするために集まった教職員
- 「映画が好き」という同じ趣味をもった仲間
- お盆に集まった家族・親戚

等



私にとって、とても大切な仲間・友達、家族・親戚です。

このような集まりは、一回だけで終わるものではありません。また来年もその次の年も・・・毎回、懐かしい昔のおもしろいエピソードを思い出しては笑い合ったり、最新の情報を交換し合ったりしてとても楽しい時間で、決して飽きることはありません。一年前と同じ話題が出て、今年聞くとまた新鮮なのです。全く色あせることはないから不思議です。

それは、長い時間を共に過ごし、「共に苦労した、笑った、泣いた、頑張った」という経験がかけがえのない絆となっているからだと思います。その絆は永遠のものです。「お盆に同窓会」はよく聞く話ですが、夏になったら自然に人が集まるように人間の体内時計が動いているのかもしれない。その時計は、何歳になっても狂うことはないのですから、もはや「夏の恒例行事」と言っても過言ではありません。

2学期は、運動会・造形大会・陸上大会・音楽発表会と、仲間と共に作り上げていく行事や活動がたくさん待っています。これらを通して、浅海っ子たちも「共に苦労した、笑った、泣いた、頑張った」という経験を共有し、もっともっと絆を深めていくことを期待しています。

そして、大人になっても小学生の頃のことをいつまでも語り合える、そんな浅海っ子になってほしいと思います。

焼きそば



浅海ふるさと夏祭り 2019



8月3日(土)、今年も“浅海ふるさと夏祭り”が開催されました。高学年の子どもたちは、お祭りを楽しむと同時に“店番”という大役をこなしました。また、PTAの方々もバザーの準備に販売と大忙しの夜となりました。子どもたちや教職員もステージでの出し物に出演させていただきました。お祭りを盛り上げることができ、ひと夏の楽しい思い出となりました。

奉仕作業お世話になりました！



8月25日(日)、子どもたち・PTA・地域の方々が集まって、校内の除草や樹木の剪定など、奉仕作業を行いました。天気が心配されましたが、夏の日差しの下、長時間に渡る作業をしていただきました。重機やトラックなどを出していただき、とてもきれいになりました。おかげで、2学期を気持ちよくスタートさせることができました。本当にありがとうございました。



令和元年度の運動会スローガンは・・・

「仲間と共に 令和にはばたけ チーム浅海」に決まりました！